

有朝

— 高橋英雄 詩集 —

第六号

五井先生を呼ぼう

令和3年1月26日

苦しい時 つらい時は

五井先生を呼ぼう

五井先生を呼んで助けてもらおう

遠慮することはありません

五井先生が「呼びなさい」とおっしゃって
いるのだから

助けてください！ とすがりなさい

人の批判を気にすることはありません

五井先生はあなたが呼ぶのを待っています

必死に呼ぶのです 叫ぶのです

五井先生の中にとびこむのです

いい加減ではダメです

どん底を通ってはじめて

あなたの信仰が育ちます

いい子ぶっていませんか？

信仰深い人だと自分を偽ってはいけません

五井先生には裸でぶつかるのです

信仰が足りないことなど

五井先生は最初からわかっています

だからそのまま五井先生の中に

「ごい先生！」と云って飛びこめばいいのです

五井先生は「ハイよ」といつて

あなたを受けとめてくれます

あなたの苦しみも痛みもご存知です

苦しみ痛みをとってあげようと

五井先生は身を投げ出したのですから

五井せんせい助けて！と云って

五井先生にすがりつきなさい

先生はあなたの重荷をとってくれます



神の命

令和3年2月8日

わがいのちわがものにあらず

神より頂き直したいのちなり

神 み心のままに生かし給う

生きるは神の命(いのち)なり

神の命に生死なし

時来たれば神の命おのず肉体をはなれ

天にかえる

我も天にかえる

祈りの柱が立っている

令和3年1月19日

私の中に壁はない。
 神界霊界幽界肉体界という
 四つの世界を一本に貫いて
 祈りの太柱が立っている。
 天と地をつなぐ柱が立っている。
 その柱の中に世界平和を祈って入る。
 五井せんせい！ と呼んで入る。
 五井先生の光明世界へと魂は上昇する。
 神の大愛の世界へと昇る。
 私は祈りの太柱を上ったり降りたりしている
 世界人類が平和でありますように
 という一本の光の柱
 五井せんせい！ という一本の光の柱
 どの柱も神界に入る入口であり
 神々が地に降りて働く出口である。
 私は祈りつつける
 五井先生の唱名をつづける
 私の肉体は入口になり出口になり
 呼吸している。

共因共果

令和3年2月6日

ともに世界平和の祈りを祈る行ないは
 百人が百人 万人が万人に共通の
 大光明をもたらす因となる。
 相手は一人ではない
 世界七十億人の平和の為に祈るのである
 世界七十億人の幸福の苗を
 七十億のところに植えつけるのである
 人間ばかりではなく動物植物の命の為に
 祈るのである。
 祈る人の未来が光明に輝やかない筈はない
 祈る人の未来に神のみ心が展開しない筈はない
 祈ろう祈ろう
 世界人類の平和を！
 日本の平和を！
 世界各国の平和を！
 そのたびにあなたは輝く未来を
 自分の手にしているのだ。



フジコ観世音！

令和3年2月8日

恋し恋しと蝉のようにないでも
 家内に会えるわけではない
 その恋しさを祈りにかえ
 ナムフジコ観世音菩薩さま
 有難うございます〜と唱える
 家内の愛は無私だった。
 夫を愛し 夫に尽し
 子供を愛し 子供に尽した。
 今その愛をたたえ
 ナムフジコ観世音菩薩様有難うございます
 と唱えまつる。
 救世の大光明とともに仏く姿は
 慈悲にみちて光り輝いている。
 観世音菩薩そのままだ。
 藤子観世音菩薩さまに会える日も近い。
 会ってハグして一つにとけあえる
 藤子観音にふさわしい私であるように
 世界人類が平和でありますように
 五井先生有難うございますと唱え続けている
 恋しさと祈りに縋(な)いませ
 胸一杯の想いで私は唱えつつづけている。

有難う

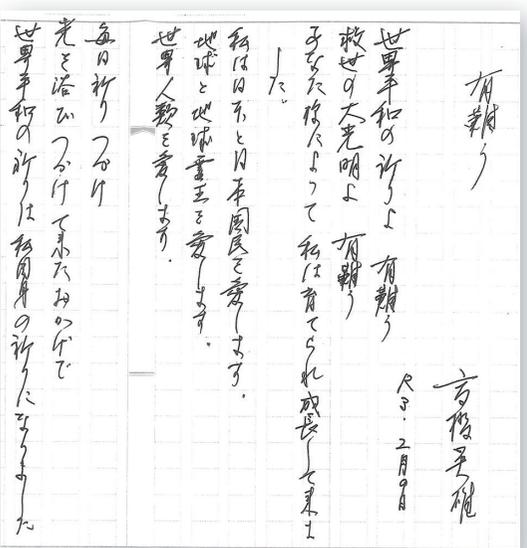
令和3年2月9日

世界平和の祈りよ 有難う
 救世の大光明よ 有難う
 あなた様によって私は育てられ
 成長して来ました。
 私は日本と日本国民を愛します。
 地球と地球霊王を愛します。
 世界人類を愛します。
 毎日祈りつづけ
 光を浴びつづけて来たおかげで
 世界平和の祈りは私自身の祈りになりました
 人類の大親様である神さまの悲願と
 私の願いとが一致して
 世界平和の祈り言(こと)を毎日毎晩
 世界に発信しています
 真向ひた押しに
 世界人類が平和でありますようにと
 祈り上げているのは
 救世の大光明であると同時に私でもあります
 世界平和の祈りに磨かれ育(はぐ)くまれて来て
 私の神性霊性は高まり
 神のみ心そのものを
 発せられるようになりました。

愛すること

令和3年2月7日

愛することは身を捧げることである。
 命をささげることである。
 自分の都合がなくて
 只々相手の都合だけで動き
 相手の喜びを自分の喜びとし
 相手の楽しさを自分の楽しさとする。
 相手が家内であれば家内に
 恋人であれば恋人に
 一生を捧げる想いになるのが愛。
 愛する相手は一人である。
 自分は汚れ役になって
 愛する人を守る。
 愛とは奉仕である。
 無私奉仕
 そういう愛を全力で行じたい。
 そういう夫婦愛は美しい



一日一日

令和3年2月11日

一日一日
久遠の世界から命（いのち）が流れて来て
生かされています。

一日一日
永遠の世界から光が流れて来て
生かされています

一日一日は永遠にして久遠（くおん）

神のみ心の展開図（てんかいず）です

五井先生のいらっしゃる世界が

一日一日と展開されています

一日一日はあだやおろそかに出来ない

神時間

守護霊守護神様に感謝し

神聖復活の印を組んでいることは

今の今

永遠の命（いのち）が活動していること

救世の大光明となって佇んでいることである

同じく

天から流れおりる

今日という一日は

永遠の生命の展開

過去現在未来という区切りなく

永遠の命の連続である。

それが世界平和の祈りとなり

五井先生の唱名となり

神聖復活目覚めの印（いん）となる

天から絶（た）え間なく流れおりる命の流れ

場の私にふりそそぐ

器の私にふりそそぐ



第六号 編集後記

高橋英雄さんが五井先生のもとに逝かれ、頻りに送られてきた詩の便りも途絶えました。未だにポストの中を探すことがあります。ご体調のお悪いなか頂いた校正は、行を増やされたり削られたりしており、詩人としてのお姿を感じたものです。コロナ禍の中で始まった全国への詩のお便りの最初には、『同封の詩「よかった」と思ったら「これは」と思う法友に「コピーして送ってあげて下さい。その法友が「よかった」と思ったら次の法友へ： 集会自肅がとけるまでのゲームです。』と添えられていました。自肅がとける兆しは感じつつありますが、頂戴した詩をお届けするゲームは、「有難う」を通してこれからも続けていきたいと思っております。

令和五年二月吉日 O.K

編集発刊 白光真宏会 大阪支部

住所 〒55010002

大阪市西区江戸堀2-7-32
ネオアージュ土佐堀303号

TEL 061644418620
FAX 061644418620